

ふるさと わがまち わが地域

長寿の郷

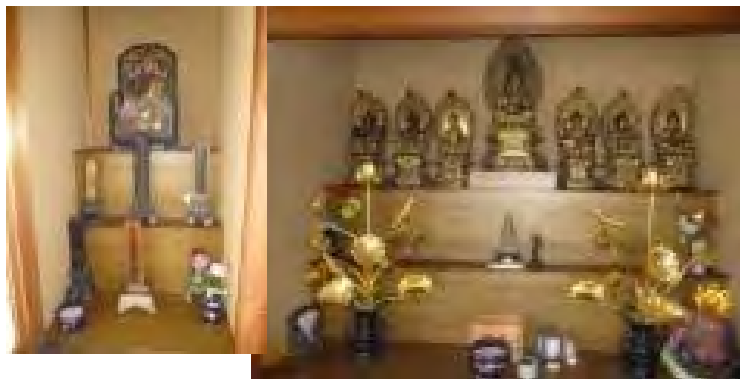
中野(なかの)地区(更新2)281121

世帯数 23世帯
人口 64人
(平成28年10月末)

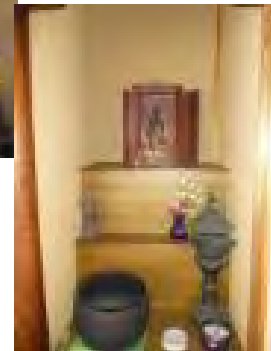
前回より
(27年10月末)
世帯数 ▲1世帯
人口 変化なし

★地区概要

中野の地名は、言い伝えによるとあまり人が住んでいない宇川の下流の田野部(でんやぶ)の中央にあたるどころから名がついたともいわれています。昭和30年には31世帯、141人が生活していました。過疎化が進む中、生計を農業(稲作)で立てながら、地域の活性化を模索しています。また、中野地区は、男性長寿世界一の木村次郎右衛門(享年116歳)さんが住んでいた地域です。自然にあふれ、近くには鮎で有名な「宇川」があります。



観音堂のなかです。(平成27年11月15日撮影)



観音堂



中野生活改善センター

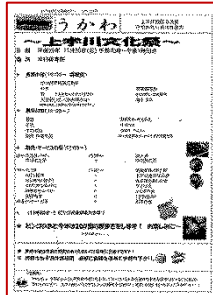
お茶席会場

「お茶の会」の皆さんにお点前をお世話になりました。



上宇川文化祭

運営委員・婦人部さんの「たこ焼き」販売



今回スタッフとして文化祭で活躍された、龍谷大学今里ゼミの皆さんです。

各種団体の食材販売です。

平成28年11月20日(日)宇川保育所で行われた、上宇川文化祭です。当日は、空模様がやや不安定でしたが、ステージでは「箏曲菊謡会」のお琴、松田・稲本両氏の「歌」、増田グループの「大型紙芝居」が披露されました。また、恒例の上宇川連合区長会の「うどん」、運営委員・婦人部の「たこ焼き」、食生活を楽しむ会の「ばら寿司」、平そば会の「そば」、よもぎの会の「渦巻きせんべい」、そして地元産の「青空市場」や生活改善センター和室では、お茶の会の「お茶席」などなどがおこなわれました。



「ばら寿司」、「おそば」、「渦巻きせんべい」、「青空市場」は盛況です。

上宇川連連合区長会恒例の「うどん屋」さん

大型紙芝居(読み聞かせ)です。

宇川加工所の「ふるまい」です。



エゴマの入ったシフォンケーキです。



平のそばで作った「そばボーロ」です。

展示の書道、手芸(染物)、木の作品、園児・児童作品を鑑賞している方々です。



三柱神社(中野小字城下)
 旧村社で、明治四十三年五領(ごりょう)神社、菅原神社を合祀してあります。
 所在地の城下は、かつてこの地に中野城が山の上のほうにあったのではないかと想像できます。

小倉備前守定光が祀ってある祠です。
 井上家が管理しています。
 (平成26年撮影)



初(下)層



二(中)層



お城跡からの撮影です。
 木々に覆われて上手に写せませんでした、とても眺めはいいです。



三(上)層

中野城は三層からなり、小倉備前守の居城跡と伝えられています。今は誰も手入れもしていないので、木々が生えたり道が崩れたりして城跡までは陰しい道のりです。



今回城跡に道案内をしていただいた井上さんです。
 (大正14年生まれです)